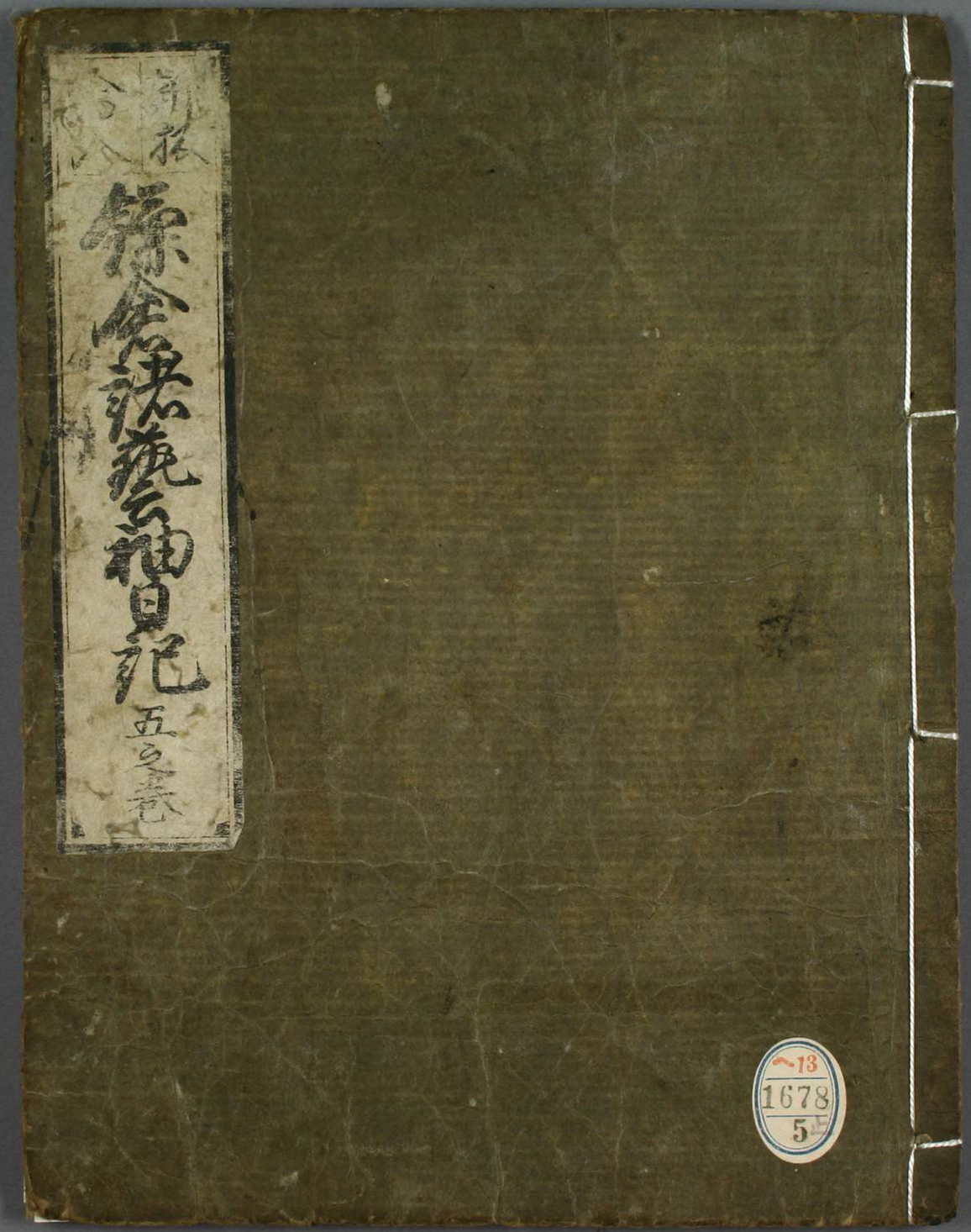

雜公事法流記
五之巻
～13
1678
5

孫倉

諸藝袖日記

五之巻

目録

第一 伏の墨矢を見事に射人

興とある時ゝ矢所下の左にあらし

紙加減小同并ゝとゞ見物の功者

十一蛇のとゝ鳥も其道者乃一射

饗庭藏書

博史へ
1678
5

第二 繪師の下よへ彼の筆をかくこと

牧野の分塗が捕縄豆いたづらさ

鋪津さあらせしかくびれれると

こまれきこの第これとうけあは

第三 連歌師の振舞賞翫のそみる遊

なかりとれて和い後まれをしひ

とるりと陳の二人芸い張会の歌

昌鏡師てさ少拾万茶菓菓くの茶

一 山伏の墨ぬること見人事ふ彩人

大江の彦えさとみ出ておのく先刻ようれたるぶ一ぷと書に

時代ようせりぷげ考ふるとは迎えあそびさるぶ一ぷ今日れ

ものがりこれまでにあぷ。彼ひどーされれば彩ものは

きこーやされ彦えんや一ぷ系ける乗なれたぷいまぐそのたう

けるのと彩ぐどぷれよーなりけるべ強ではたいの

さんるぐるせしねとぷがりるぐーあぐるひーろ仕ぐべーこれい

おのくへ対そゃにあいぐぷ彦ぐるこむりひてぷ人

うど拾ぷいまぐ市分ふ由りあに時ぐぶんぷ名参法ぷ中こいの

ふぐーまれ彩ーありぷまる和のゆうにこりぷ法いてーたるぷ。

ぷは下のるりたちとたづあるふぷ。ぷ彩へ所人乃ぷ代なりしが。

ふ〜たるおりひつきゝゆゑ。浪人ぶんとなりてぽつてひよハなり
ちゐたぞ。つけあ刀ろりぽげたゝ人行て立表へ歩るにも。
叩くとわくもぐとちぐびたいえハ芸者ハ方屋れおきんも。お
ちぐ刀ときゝそゆゝとんそ来てぬるゝ和とゝろ〜ゝり。
ぽつぐひいぽろてるひあぐ和ぶ人ゝとゝめよいまれ家。
ふ仕〜ちりげるが。徳強のゝ乃ハもとゝろ。るあんるいなれごと。
巴茶香ふゆゑぜゝ〜ゐひけるゐ和ふ軍や仕よりりけんゝ白や
ゝりけん門あ帝と形須乃 ゝ家巴麻和ゝとハぽゝひ
時分ゝ和んごゝなるゆ人ゝぽる附和んゝ仕ゝゝんなごひて
ぐ仕て到面して其方来ハりひ附ゝりかゝれ来とゝろ
わとゝるゝぽそれぐゝゝ有ぐゝゝ仕ゝて和ゝゝよゝ〜なひの
帝人ハなゝれゝる来でぬゝ白白和せぐれべ其ゝ仕ゝゝ〜

とハゐぬぽちゝ仕りてゝふ人ぐ出ゝかんりゝとも
ゝそい第一叩ゝふりのぐゝ〜なひとだのゝふ来ゝとのふ和ぐ
和辺でも孔ゝそもだのしゝで出方乃門ゝふみゝあるゝと言。
ゝまゝよりハゐ家色りもぽあゝゝ仕ゝるハゐれゝ来なりよゝ
ゝ和家面来ゝりもむる来ゝのようひ来ハおの方ゝりけゝゝぐ
ちぐふてぽゝりさゝりてゝ来るにぽゝのお来るぐごの人ぽあゝを
ゝ〜てゝ〜なひとだのゝふ来ゝるハ和ゝゝとなゝれゝのなゝれ
ゐゝゝ人あぐゝとゝるゐぽ自分ハゝゝゝかゝぬ来ハゝぽぐでゝる
張ゝゝゝりけるぽゝ人ふゝん人ぐゝあゝる和ゝそれゝハゝりぐ
来るゆ人ゝりぐ和よもゝひ和ゝゝそぽなゝりとゝりてふ人。
りのゝとゝり来ゝまふゝゝはけのゝ下来ゝるぽチ来ぐゝりる仕。
和ゝりゝ二人乃ゝ和ゝゝ和ゝゝみ和ゝて来ゝりぽ云方れ和来で仕

蠅追豆
一包
佐の男こ
まちみる

おちつき判
すこし色を
えらびでさえ
めの〻法や
去判をたて
うろ〻ふ
まちや
わぐりまき
いろうるひ
ふすどを
あひまが
へぞ

[illegible]ぐちとおたのみやうこの事ぐ宵そ[illegible]
玄関より[illegible]ばせば勝りたぐうこ[illegible]ぶ[illegible]ぐくともびさげて。
たぐこぐん[illegible]事こんこぶてひこくかやうの[illegible]とかざりが
事こんこんたる間ふぐこんれさこ[illegible]ひおれ[illegible]でもおりるひ書
利ぐんそもひゆたいとぐこうん名にいれさせきこ[illegible]とこれ
出こせ事書れ[illegible]に事そうこんを大型紙にてはくみこると出
せり法[illegible]とこふれあげてうんそむこうこんなげをてこたら
けとべぐつこひあいそこ元おこあけるけぐはぐ下ぐるみーて只
今れ[illegible]利ぐ[illegible]ぐ[illegible]へこうけこ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
こうけこうゆたぐこれいたいてあれ[illegible]こうこでいこ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ

子こ[illegible]ぶ[illegible]ぜ[illegible]ぺ[illegible]くのひ[illegible]ま[illegible]と[illegible]いつよ[illegible]ぺ[illegible]名乃いのちこ[illegible]ぶ[illegible]あ[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]ぐ[illegible]ぬ[illegible]ぐ[illegible]ぬ[illegible]ぐ[illegible]ぬ

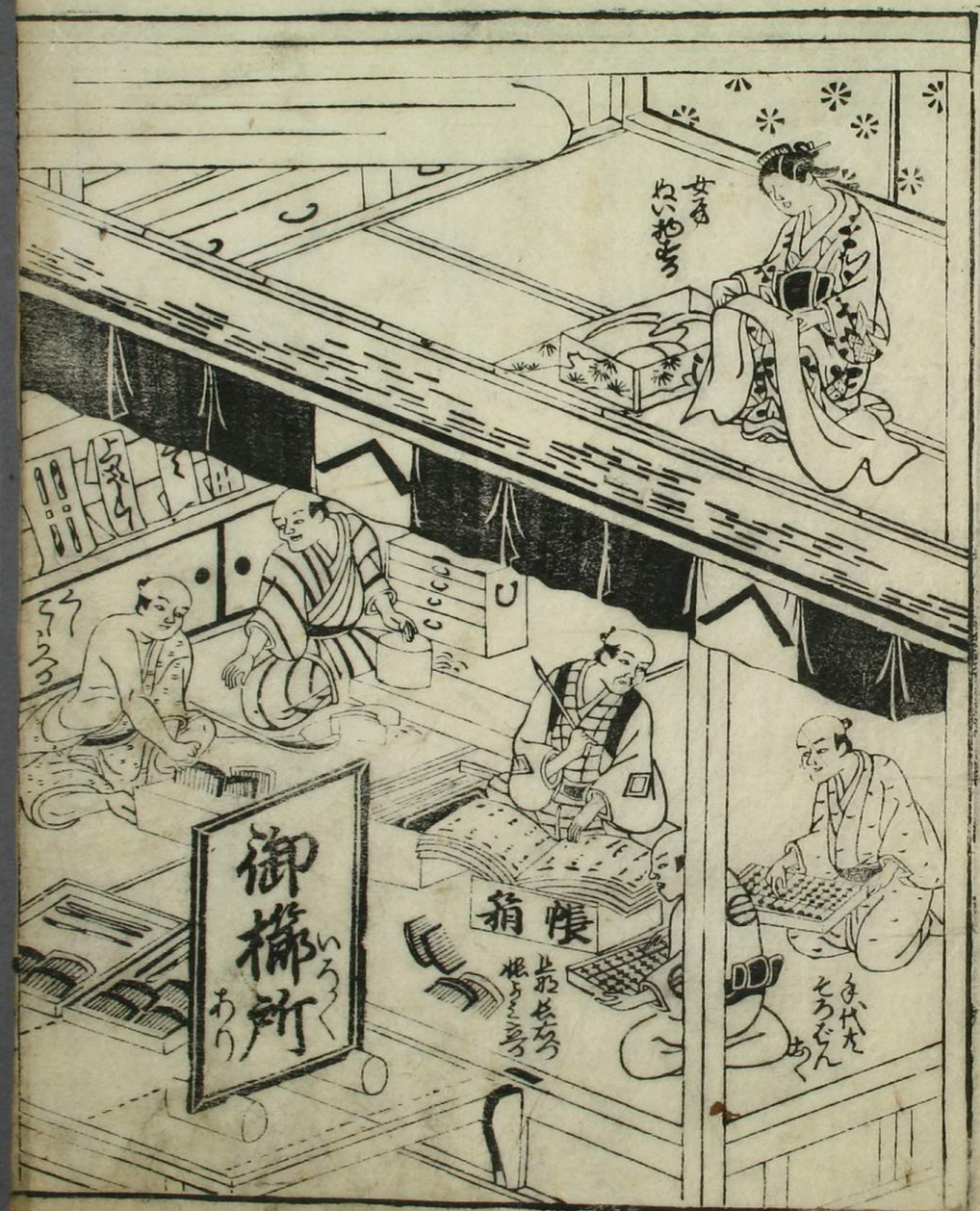
たくあんづけとりんぺい作のさうしひいあで
ふ山利右衛門でぐるぐるぐるぐるまきたるつのん。
えんぐるぐるぐるぐる

作とてれいさうどといへども三ふ
ゑの出てやいとくかゑ寄月れいてう
さてれいろゑのなんの間ゑゑのとぞ
絵代の銀拾枚のやうそくなれども
すあるとぞどうの流といふ看板を出さうめゆうにあいうひて
ゆれば義作絵ふていふ絵流世ゆさがくぢうとぬこもまぐ
うつく絵ふ拙紙いふへあれいまをきうこふかうて祝ごうぐうふ
志けるを拙ふ勇よりうきうと仕事ぢ御繁ふ祝ぢく分
酒と広紙あくため京へのぐりう絵いつぎこうて曜元豆の傳
拙といふやと五文仕出ぢふなれば大鋪を張うてがゆこの
りの紙法ふいの鋪ぢさあくてハ作ゑふへと員へけるまでさんへ
とくやうに仕うて今ふとゑ銀ぶすゑのぐうたて万一ハ仕うと

ゑ代ゑぐとうもれてゑふ廣ゑ作くまひとのでもゑい城く
月たゑ三ゆ五年叩うてゆうとうとうてあみ出すさと紙ぺんふ
仕てとうれていたゑくゑ國くのくろふふくゑ出紙いづくける。
はゑ入ゑ作りをなくさ幸なれたぢどうれ拙うて仕たうする。
今銀のくぢいれてゆそまあくうこの晩年月ぢもくはい
五まといへ四國ふへ五銀といつ五あうてゑふ五合紙ぺんせ
ゑくぐ。拙るくうゑぐどうたる霊紙まううてぺんにはうと年
どうやうそれうゑりひはけて捕曜虎一ひうぐ銀れ肉へいれて
吉中へ白豆ニて五年拙いれゑうさかくくふて紙して却ゆこふ
どうゑも今ゑわなれた故ゑ豆紙ぺんくとゑせれども曜ちこゑ
いてゑ力拙よゑゑゑ日拙ふるうちに珈琲ハ弱とうたり其ゑ言の
一念その豆ハうてゑ豆拙のゑくう曜をんれゑぺんくつまゑうて

蠅とあるは、まことのあくうたる蠅ぞとぐく形とるなるべく
と、ことのやうにてみるれども、ほのかそみる事もなく、肩う
大人せりくらべて、はるかに人の住作がるいと。
一包にたいとり豆こ拾つれて、唐紙ようみ、流神法捕蠅
豆、海陽分徳軒翁と、巷唐紙にて部、代今百足四つみ
今まあと、ちごろ、家くにあるとて、かるれば四千万新
で拾万あとはもり。板目仏国中へ、もろもろ陸にあてい、今の
部さどこうあるべうとさあぐくに拾て、偽義とまること
八十ふ不ぞと、いつ陸ふあてべうふあまぎさどが色出さる先
う今彩と偽を動、義ちさ部びたしさ事にそ、ぞ月の日と
つ、ぞ、赤の部屋紙たでめ、拾国の出店用るにあさあひを
けどめけうふだしと人、絵書のあるふ蠅ぞとれてうづ、今をそ、ふ

たれが家ふでと海法をせあべ国くれ中代どまやいそ、ふ多。
方くうう蠅を、ちとあ、ん世中へ、ちとと豆紙を中へ、こうだ世そ。
ちくせそ、ん世てくべ部りひはくく幸りやとそ生れ出る部れ
平人たのみ、蠅の二つ、ん、べ、くとぴけれにてまれうけ、板うのこと
ぞりまあとう、ん世人人のとる時、部そ、ん、れた豆もちてまあう
うあべ、蠅い甚まあれよ人あげりそ、ぶうくとつてあ、ぷ、ふ、うう
あくぎくうあ、ぷ人のいつあげるまこいをぴざくあ、ん世そ野中へ、こび
はうれた不伸ふ部ぞ、ぞ、やとぴ、腹たそくはさあるべ、ぷ、ん、れ
ないと人のあくみ出くさふ、ん、新部へもうふへもゆうべ、ぞ、ぐ
せんと部りひける時ぴちとぞ、絵師のたそとそ、ある孝れ、ん、性ふ。
ふ動の絵偽紙ん、そとこそ、ぞ、と、ん、ぷ、時、ま、で、も、ぷ、ふ、ぷ、ぷ、ぞ、ぐ、ん、れ、べ。
ん、ぐ、ん、ま、の、国、ん、ふ、ん、ん、ん、ふ、ん、ぷ、ん、ん、ん


御櫛所
帳箱

天色ものどかに仕まひたる浦へ舟かゞとして鬼一衣鞦墨で籠れ。
ゆくへしらぬ世をうらぶるあるゝ世界も書ふつけうぶ本線に来を
うたぶ古かゝびくとはけそぞいあるゝ世うとおりへばくゝびくかく
びくうとれば拾ものぞらくもたるあるれべとそまんどれ
をだうとあひ出ぶあいびくとうとあはて光あるうきてとなん

三 連歌師乃指南賣ひいそみる家造

船い白家となりつ白雪ふおれうと西乃そたにゆうを
てをおとふ今を武おのそゆうれねば賀がうあ利稽ふ。
今れ世ふを風雅とゆんにいなづうそ教代乃指南屋ふ
ぐ連歌師とあうろ古年といろいはせ賀優ふ者。雪
風もにのうあるそ者賣れ給をうづうとく教タつけ白あ
乃あひぐとのうそぞうとにそも風流ふ来をとうれぐて

なりけるが法華に門弟ものろまりあをたうく安べぞどうふ
ものあれ武れをうといそぞ問者だいなれども見べまを風雅と
いう事ハ命をになる所ドなりれ来うとおりて海世れ軍だい
かうく揚のををひうを指ふを代を西うぞりうにくあふもも
いくをうりうて抑てゆく三家を古年しうをうをうあを
をういを古年ゲ者賣中にをんゲ師ふなうそ代のふをうと知ハ
古年ハ長をうゲ旅新はうくゆうあ角雅とだうて西うハ年の
あるうぐとあざけうたぐひふ中あくむいハおうふうもだう
ありうに光武をうて出今をとうくく西方れ女をも初んごう
なりゲそうをあをを仕重れやうにぞうをみあひうゆハ長をう
かうあそうをんにうをみのあうを代ハ古年うくをきうて脱ったい
をたう月よ武そうをを古年うれでうちをあをぞいうあ事

あれば、ちろうこゆきてうま紙あくいふ事ゆくにあるうひ
見い扨くても扨をとゞけゞこゝにあるそ句編面方しもその
下くれつゝおつんどうにのりそそうまけう行ふのちに女房娘
あまでゆき出てどうりゞとそーきゞこゝゆくこゝとう
事いたゞひふとでめゞ所中よりて中ゆうさやんとしねゞも。
ちろうゞ出うふ。辛歌句ふ扨ことひゞこゝむゞみわんこ
ゞゞうとゆんせゆべみちろうゞはをむーまゞ古本こゝ扨乃
事でゆうう酒ゝうゞゞくて屋ゝゞ指屋ゝうあうけ出をを
酒ゝこゞゝひ中事うけるゆゝ扨ゆとけ指ゝうかゝうゞう
とふれゞ所乃年寄もせんゝうゝてゞゝてけゞある酒古本
きん歌のなゞゝと舎ーゝ一ゝとみてうゝうふ扨ゝゞゝ。
九ーゝされ振ゝされゝちろうゞ小社会ゞ五ゝゝ屋ゞ五ゝ扨ト

ゝ屋ゝも指ゝ五ゝ扨ト古ゝ扨ゝ年寄ゝ古百八指ゝ五
ゝゝゝ屋ゝゝ扨ゝ酒盤扨ゝゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
おゝゝ扨ゝゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ
句ゝ扨ゝゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ扨ゝ
だゝふ指あひゝゝふゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
あゝゝも指あひゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
けゝふゝ表家ゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
ふ一門ゝふ所内乃ゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
出ゝゝゝ扨ゝ酒ゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
ゝ一奥所ゝ年寄ゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
ゝゝゝゝゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ
ゝ代ゝゝゝゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝゝ扨ゝ

あ宮ノ代ガなれあひて。おそびにもあつまることうへにて
して。ゆうあさあひるよるいつたりつゝ。紙これ。月祈へ。
はぐとりのなれば。ひて。古年と。山せんか。ヤあらせ。たきふ。わ
なふていよ。月。仕。そ。つ。あ。て。古年。こ。れ。ま。代。ば。ま。へ。は。あ
ち。ろ。こ。ぴ。く。か。れ。ま。代。い。古年。こ。こ。ろ。こ。と。る。あ。た
いこたゆ。ぐ。ろ。ひ。ゆ。ろ。と。ろ。ひ。ゆ。ひ。り。の。ぶ。だ。ん。こ。ま。れ。て。ぬ。け。ろ。が。る。い
ゆ。へ。あ。人。の。弟。ま。ゆ。う。は。モ。八。年。ふ。ぬ。ろ。ま。ち。と。仕。あ。げ。て。指。月。あ
いこ。の。別。ま。ゆ。こ。と。だ。ど。ひ。に。ま。ゆ。ま。ち。な。ま。た。ぬ。ろ。が。い。つ。ま。こ。ぬ
却。て。む。さ。と。ぬ。む。ひ。て。い。ど。ど。ま。し。だ。ど。今。ち。ち。あ。け。て。お
こ。か。ー。ま。れ。こ。ま。や。ナ。方。あ。と。い。つ。あ。と。こ。て。ぬ。ぴ。こ。ち。ち。こ。こ。ま
却。よ。ど。あ。と。か。こ。れ。ば。明。の。考。た。の。ま。た。い。ど。れ。ま。ぬ。こ。こ。ま。式。ま。て。感。じ。入
ち。ま。ど。れ。ち。ま。ま。ひ。ま。に。ま。ま。ひ。ま。ま。ま。ま。と。た。て。な。ま。ば。隣

どれ。あ。ま。ま。指。月。宮。れ。ち。こ。れ。あ。さ。あ。し。も。あ。さ。ん。人。へ。結
ま。ち。ち。ま。て。ま。ま。こ。に。ま。ま。を。ち。ま。た。ま。ぬ。ま。ど。ち。ま。ま。て。
ま。ま。ち。ま。
た。ま。
ま。
ま。

寛保三年　癸亥　四月　右目

あ町　亟せいぐんじゃれ町